

## 合併の必要性

歴史、自然と文化に恵まれ観光資源が豊富な笠間市、ＪＲ常磐線を中心として交通網に恵まれた友部町、農業を中心とした発展から工業団地建設により産業的な発展が著しい岩間町、それぞれが地域の特徴を活かし発展を遂げてきました。

３市町の地域にはＪＲ常磐線・水戸線の２線が走り、また常磐自動車道や北関東自動車をはじめとして道路網が発達していることから、商圈や通勤・通学が盛んな生活圏を形成しています。

また、笠間市、友部町及び岩間町で共有する事務組合も多く、生活環境も同一圏を構成しているなか、住民生活を支える行政サービスを構築するとともに、拡大していく住民ニーズに対応するためのまちづくりが必要になっています。

## 新たな行政需要への対応

地方分権の進展により、住民に最も身近な自治体である市町村には、行政需要を的確かつ自立的に判断し、サービスの内容や水準を高めていくことが求められています。

特に、地方分権による権限移譲に伴い、さらに新しい分野での専門的な技術や事務事業の増加に伴った行政の対応能力が必要になっています。

また、少子高齢化や情報化の進展、男女共同参画の高まりなどの社会情勢の変化に伴い、行政に対する住民ニーズは複雑・多様化しており、これらの行政需要に的確に対応していくことが求められています。

さらに、政策の企画立案能力を高め、行政課題に対して横断的・総合的に対処していくとともに、専門職員の確保・育成などの行政能力全般の強化が必要になっています。

このため、市町村合併によるスケールメリットを組織体制に反映するとともに、十分な政策執行体制を確保していく必要があります。

## 財政基盤の強化

少子高齢化社会の到来により、高齢者の医療や福祉面での行政需要の変容・増大は避けられないものとなっており、対応すべくマンパワーの確保、救急医療体制の拡充、充実した介護サービスの提供が求められています。

また、子育て支援に対する行政支援も質・量の面で緊急の課題となっています。

このように、医療、福祉面での行政需要と支出が増大する中で、新市の財政基盤を強化するという課題を克服するためには、経費節減を始め、行財政改革に取り組んで行かなければなりません。

## 地域間競争への対応

今後の自治体のあり方は、住民サービスの質の向上を目指していくばかりでなく、地域内の資源を最大限に活用して地域アイデンティティの確立にも努めていかなければなりません。

また、茨城県の中央部に位置し、JR鉄道や高速道路などの交通網が整備されている優位性を活かし、国や県などが地域内で実施している重点プロジェクトを推進するとともに、新たなプロジェクト事業の誘致に力を入れ、合併効果をまちづくりや行政サービスに反映し、競争力のある自治体の構築を図る必要があります。

【表 1】広域行政の現況

| 市町名 | 消防 | 火葬 | 介護 | ごみ | 下水道 | し尿 |
|-----|----|----|----|----|-----|----|
| 笠間市 |    |    |    | 単独 |     |    |
| 友部町 |    |    |    |    |     |    |
| 岩間町 |    |    |    |    | 単独  |    |

資料：市町村概要

笠間地方広域事務組合

笠間地方介護認定審査会

友部町岩間町介護認定審査会

友部地方広域環境組合

友部・笠間広域下水道組合

筑北環境衛生組合

茨城地方広域環境事務組合